

# 東京都江戸東京博物館紀要

## 第1号



明治後期における川村清雄の作品売買の一様相

—川村家の親族と三井系人脈の関係にみるパトロネージの実態—

落合則子

明治後期の三越呉服店における日比翁助の企業経営と藝術支援

—百貨店経営理念の形成と美術的展覧会の理想—

田中裕二

新版画の制作 —館蔵の川瀬巴水原画について—

小山周子

和暦の西暦表示についての提言

近松鴻二

企画展「えどはくでおさらい!」開催報告

阿部由紀洋  
齋藤優美

文学散歩という方法 —漱石文学散歩の記録—

行吉正一  
田中実穂

三島由紀夫「橋づくし」を読む・見る・歩く

—講義・展示・文学散歩の記録と考察—

湯川説子

野外博物館スカンセンでの研修報告

早川典子

# 東京都江戸東京博物館紀要

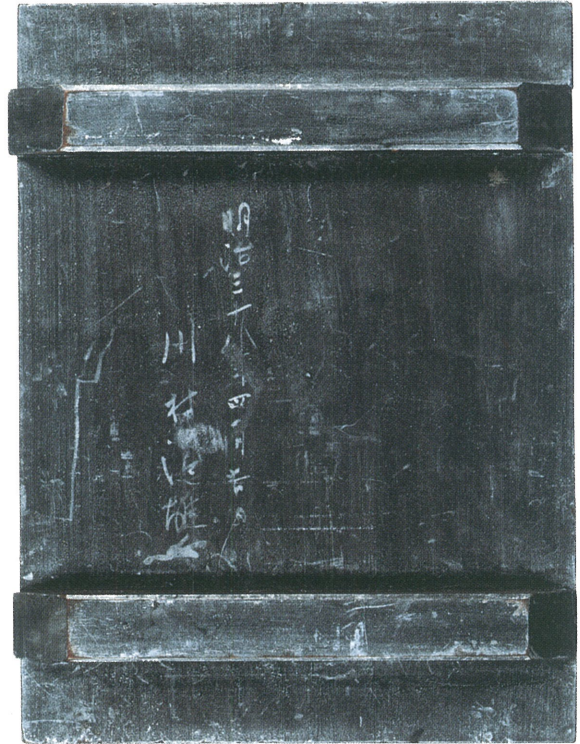
## 第1号

2011年3月

1995年度より発行していた「東京都江戸東京博物館研究報告」を今年度より「東京都江戸東京博物館紀要」と改名した。



【口絵1】 川村清雄画 皆川平恪肖像下絵 画面  
江戸東京博物館所蔵



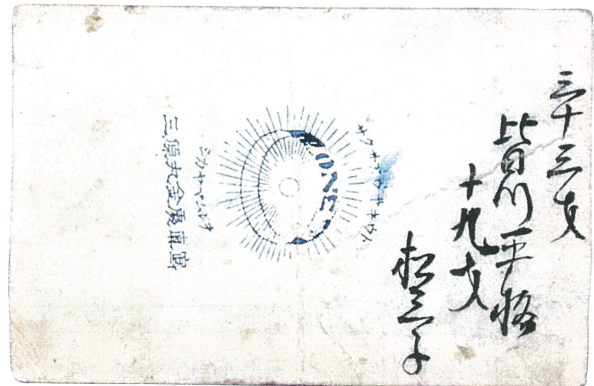
【口絵2】 皆川平恪肖像下絵 画面裏の紀年銘  
江戸東京博物館所蔵



【口絵3】 川村清雄画 皆川平恪肖像下絵 江戸東京博物館所蔵



【口絵4】 皆川平恪肖像写真 江戸東京博物館所蔵



【口絵5】 皆川平恪肖像写真 裏面の墨書銘  
江戸東京博物館所蔵



【口絵6】 川村清雄画 松本常磐肖像下絵  
江戸東京博物館所蔵



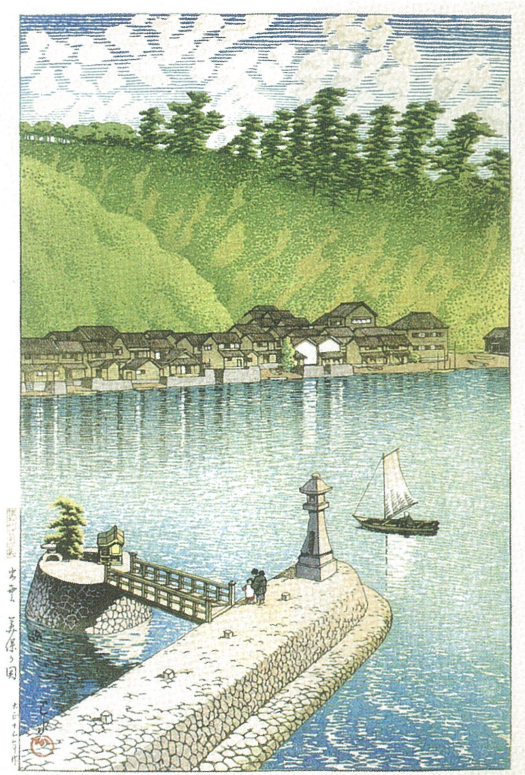
【口絵7】 松本常磐肖像写真  
（『台湾製糖株式会社史』より）  
国立国会図書館所蔵



【口絵8】 川瀬巴水画 東京二十景 明石町の雨後 原画



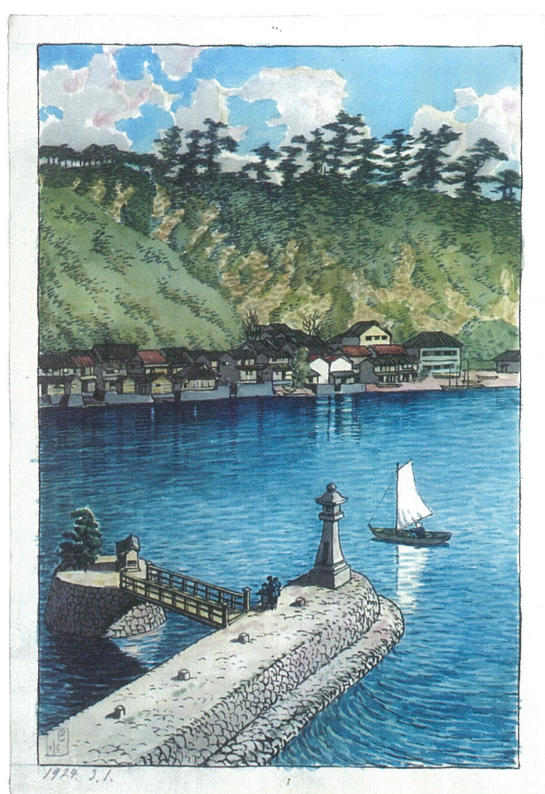
【口絵9】 川瀬巴水画 東京二十景 明石町の雨後



【口絵10】 川瀬巴水画 旅みやげ第三集 出雲美保ヶ関



【口絵11】 川瀬巴水画  
旅みやげ第三集 出雲美保ヶ関 原画



【口絵12】 川瀬巴水画  
旅みやげ第三集 出雲美保ヶ関 水彩画



【口絵13】 企画展「えどはくでおさらい!江戸時代」会場入口



【口絵14】 企画展「えどはくでおさらい!江戸時代」会場の様子

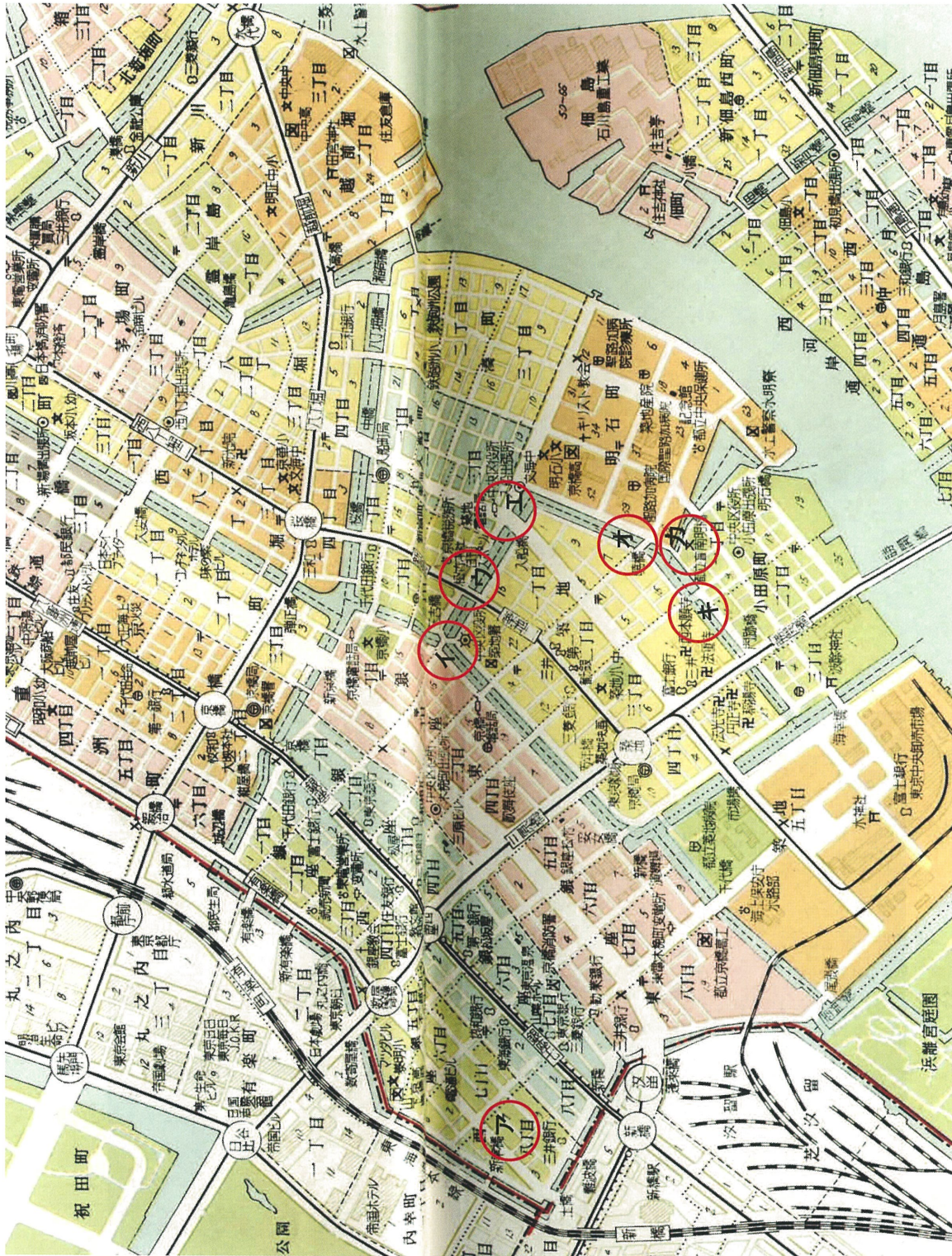


【口絵15】 企画展「えどはくでおさらい! 明治・大正時代」会場入口



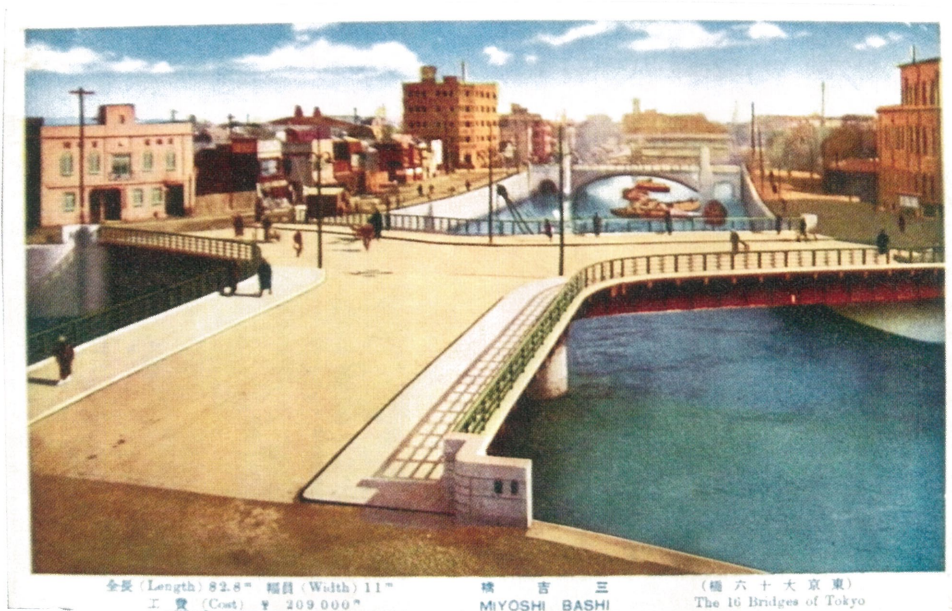
【口絵16】 企画展「えどはくでおさらい! 明治・大正時代」 第4～5章付近





- ㉞分桂屋
- ㉝三吉橋
- ㉜築地橋
- ㉛入船橋
- ㉚暁橋
- ㉙堺橋
- ㉘備前橋

【口絵17】 東京都別地図大鑑 中央区（部分） 人文社 発行 1955年（昭和30）



【口絵18】 (東京大十六橋) 三吉橋 絵葉書 昭和初期



【口絵19】 第1、第2の橋 三吉橋



【口絵20】『橋づくし』函 三島由紀夫 著  
文芸春秋社 発行 1958年（昭和33）



【口絵21】『橋づくし』第5版 函 三島由紀夫 著  
文芸春秋社 発行 1958年（昭和33）



【口絵22】『橋づくし』雪月花 三島由紀夫 著  
牧羊社 発行 1971年（昭和46）



【口絵23】『橋づくし』鮫小紋本一式 三島由紀夫 著  
牧羊社 発行 1971年（昭和46）

目次

口絵	口絵
序言	1
【論文】	
明治後期における川村清雄の作品売買の一様相 －川村家の親族と三井系人脈の関係にみるパトロネージの実態－	落合則子 3
明治後期の三越呉服店における日比翁助の企業経営と藝術支援 －百貨店経営理念の形成と美術的展覧会の理想－	田中裕二 31
新版画の制作 －館蔵の川瀬巴水原画について－	小山周子 47
【研究ノート】	
和暦の西暦表示についての提言	近松鴻二 63
【調査・事業報告】	
企画展「えどはくでおさらい！」開催報告	阿部由紀洋、齋藤優美 83
文学散歩という方法 －漱石文学散歩の記録－	行吉正一、田中実穂 113
三島由紀夫「橋づくし」を読む・見る・歩く －講義・展示・文学散歩の記録と考察－	湯川説子 159
野外博物館スカンセンでの研修報告	早川典子 183

Table of Contents

Frontispiece .....	Frontispiece
Introduction .....	1
[Article]	
Dealing in KAWAMURA Kiyō-o's Works in the Late Meiji Period – The Mitsui Family Network's Patronage of the Kawamuras and Their Extended Families – .....	OCHIAI Noriko 3
Mitsukoshi Gohukuten under Management of HIBI Osuke and Patronage of the Arts in the Late Meiji Period – Developing Ideal Department Store Management and Art Exhibitions – .....	TANAKA Yuji 31
The Making of Shin-hanga – Attend on the drawing for woodblock prints by HASUI Kawase owned in Edo-Tokyo Museum – .....	KOYAMA Shuko 47
[Research Notes]	
Proposal for Displaying Japanese Imperial Year using Western Calendar Format .....	CHIKAMATSU Kouji 63
[Reports]	
Report on the Exhibition “Let's Review Your Lessons at the Edo-Tokyo Museum ! ~ Portraits and Pictures in Textbooks ~” .....	ABE Yukihiro and SAITO Yumi 83
Literary Walking as a Method of Research – Document on the Literary Walking of NATSUME Soseki – .....	YUKIYOSHI Shoichi and TANAKA Miho 113
Read, Observe and Walk along MISHIMA Yukio's “Hashizukushi” – Document and Discussion – .....	YUKAWA Setsuko 159
Report from Skansen, Open-Air Museum .....	HAYAKAWA Noriko 183

## 序 文

東京都江戸東京博物館では開館以来、常設展示・特別企画展などの展示のための調査研究のほか、江戸東京の歴史と文化に関する年間特定研究、館蔵資料調査を中心とした基盤研究、他の学術機関や博物館などと共に行なう共同研究などを推進し、その研究成果をさまざまなかたちで刊行している。

東京都江戸東京博物館の母体である東京都歴史文化財団は、本年度より公益財団法人となり、それにともない当館も、調査研究事業をより強化する体制が整えられつつある。そうしたなかで、当館の「研究報告」も、近年の資料や図表の多様化・大判化に応ずべく判型を改め、当館発行の「調査報告書」と同寸のA4判とし、誌名もこれを契機に従来の「研究報告」から「紀要」と改名することに研究会議で決定した。せっかくの機会なので、表紙のデザインも一新し、館蔵資料を掲げることとした。また、本誌の内容も、調査研究の論文や資料紹介だけでなく、展示や教育普及事業など博物館活動に関する多様な報告を掲載することとした。本号は、通巻すれば第17号に相当するが、名称変更のこともあり、あえて「東京都江戸東京博物館紀要第1号」として再スタートさせた。それは、公益財団法人に移行し、東京都江戸東京博物館の公の機関としての多様多面的な活動を広く報告するという意識を再確認するものである。

今回の紀要は、論文3篇、研究ノート1篇、調査・事業報告4篇で構成されている。論文の一つ目は、寄贈資料の一つ幕臣・川村家の出身で明治期に活躍した絵師川村清雄に関する資料群を、整理・調査・研究した成果の一部である。川村清雄に関しては、近年中に展覧会を予定しているが、その基礎調査の一端を示したもの。二つ目は、明治期の三越呉服店における企業経営と藝術支援の仕組みについて、その中心的役割を果たした日比翁助を取り上げたもの。三つ目は、2009年秋の特別展「よみがえる浮世絵ーうるわしき大正新版画展」を企画する過程で問題提起された館蔵の川瀬巴水の原画コレクションをもとに、新版画における原画と版画との関係を明らかにしようとするもの。研究ノートは、1872年（明治5）12月2日まで用いられた和暦と、それを西暦表示するに際しての諸問題点を整理し、換算便覧を提示したもの。

新たな試みとして、展覧会や教育普及事業の報告が加わった。一つ目は、2008年～2009年度にかけて行った企画展「えどはくでおさらい！」（「江戸時代編」2回、「明治・大正編」1回）の報告。二つ目は、教育普及事業の一つ、全6回にわたって行なった「漱石文学散歩」の実施報告および文学散歩についての考察。三つ目は、三島由紀夫「橋づくし」をテーマとした展示と講座・文学散歩の実施報告である。そして最後に、スウェーデンのスカンセン野外博物館でおこなった研修の報告である。

いずれも、当館スタッフの調査研究・展示・教育普及事業における成果である。本紀要が博物館活動の一端としてさまざまな方々に寄与すれば幸いである。

東京都江戸東京博物館

## 東京都江戸東京博物館紀要 寄稿要項

1. 本書の名称を「東京都江戸東京博物館紀要」と定める。以下、「紀要」と記す。
2. 「紀要」は、江戸東京の都市としての形成や発展過程について明らかにするために、歴史、生活・文化、都市構造等の分野からの視点を踏まえた専門的、総合的研究の成果や、博物館活動における展示・保存・教育普及等の技術研究等の成果を、論文、資料紹介、研究ノートなどに掲載・発表することにより、現代社会で生活する人びとの学術及び文化、教育の発展向上に寄与するものである。
3. 本書の編集事務局を都市歴史研究室に置く。
4. 「紀要」に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
  - (1) 東京都江戸東京博物館（以下当館という）の組織、運営にかかわる者。
  - (2) 当館が受け入れた共同研究のメンバーならびに調査・研究・展示協力者。
  - (3) 研究会議が依頼した者。
  - (4) その他、館長が適当と認めた者。
5. 寄稿しようとする者は、題名、論文・研究ノート・資料紹介などの別を、あらかじめ編集事務局に書面（様式1）をもって申請し、研究会議の承認を受ける。
6. 原稿執筆においては、分かりやすい文章を旨とし、必要に応じてルビを付す。使用言語は原則として日本語とする。
7. 特殊な記号・図版・印刷方法が必要な場合は、あらかじめ編集事務局の承認を経なければならない。図表および写真などは20点程度を限度とする。
8. 原稿枚数は原則として400字詰め原稿用紙で80枚以内とする。原稿枚数が原則を越える場合は、複数号に分割して掲載することもできる。
9. ワードプロで執筆する際、縦書き原稿の場合は一行32字、横書きの原稿の場合は一行46字とし、原稿1部、コンピューターメディア（フロッピー、MO、ZIP、CD-Rなど）1枚の提出とする。
10. 寄稿された原稿の掲載採否は、研究会議で決定する。
11. 原稿の提出は、都市歴史研究室内の編集事務局とする。
12. 著作権は東京都江戸東京博物館に属す。

付則) 平成6年8月20日施行。

平成7年6月1日改訂施行。

平成9年6月1日改訂施行。

平成22年12月1日改訂施行。

当館では、1995年より「東京都江戸東京博物館研究報告」を刊行し、昨年度は「東京都江戸東京博物館研究報告第16号」を発行しました。今年度より、誌名を「東京都江戸東京博物館紀要」と変更し、号数を第1号から始めることにいたしました。また、判型をB5判からA4判に改めました。

東京都江戸東京博物館紀要 第1号  
Bulletin of the Edo-Tokyo Museum, No. 1

発行日 2011年(平成23)3月31日  
Date of issue : March 31, 2011

編集 東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室  
Edited by Edo-Tokyo Museum, Urban History Research Office

発行 東京都江戸東京博物館  
〒130-0015 東京都墨田区横網1丁目4番地1号  
TEL 03(3626)9974 FAX 03(3626)8002

Published by Edo-Tokyo Museum  
1-4-1 Yokoami, Sumida-ku, Tokyo 130-0015 Japan  
TEL 03(3626)9974 FAX 03(3626)8002

印刷 株式会社 日新社  
Printer : Nissinsha Co., LTD

© Edo-Tokyo Museum Printed in Japan March 2011



# Bulletin of the Edo-Tokyo Museum No.1

Dealing in KAWAMURA Kiyoo's Works in the Late Meiji Period  
-The Mitsui Family Network's Patronage of the Kawamuras  
and Their Extended Families- ..... OCHIAI Noriko

Mitsukoshi Gohukuten under Management of HIBI Osuke  
and Patronage of the Arts in the Late Meiji Period  
-Developing Ideal Department Store Management and  
Art Exhibitions- ..... TANAKA Yuji

The Making of Shin-hanga  
-Attend on the drawing for woodblock prints by KAWASE  
Hasui owned in Edo-Tokyo Museum- .... KOYAMA Shuko

Proposal for Displaying Japanese Imperial Year using Western  
Calendar Format ..... CHIKAMATSU Kouji

Report on the Exhibition "Let's Review Your Lessons at the  
Edo-Tokyo Museum !  
~ Portraits and Pictures in Textbooks ~"  
..... ABE Yukihiro and SAITO Yumi

Literary Walking as a Method of Research  
-Document on the Literary Walking of NATSUME Soseki-  
..... YUKIYOSHI Shoichi and TANAKA Miho

Read, Observe and Walk along MISHIMA Yukio's "Hashizukushi"  
-Document and Discussion- ..... YUKAWA Setsuko

Report from Skansen, Open-Air Museum  
..... HAYAKAWA Noriko